

第 48 回

社会貢献者の記録



公益財団法人
社会貢献
支援財団

第 48 回

社会貢献者の記録

目次

表彰選考委員プロフィール	004
式典次第	005
会長挨拶	007
表彰選考委員挨拶	009
受賞者代表挨拶	011
記念写真	012
表彰式スナップ写真	013
来賓祝辞・乾杯のご発声	018
祝賀会スナップ写真	020
社会貢献者表彰とは	023
受賞者手記 目次	024
人命救助の功績	026
社会貢献の功績	050
資料編	086

表彰選考委員プロフィール

委員長



脚本家 東北大学相撲部総監督

内館 牧子

東京都教育委員会 教育委員ほか

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラメント」ほか多数

著書：「終わった人」ほか多数

委員



元国税庁長官

大武 健一郎

関西大学客員教授 認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会理事長

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道一
国のかたちをみすえて」ほか多数

委員



産経新聞 東京本社 編集局 副編集長

小川 記代子

委員



久米繊維工業株式会社 取締役会長

久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」「NPOのためのIT活用講座 効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか

委員



ノンフィクション作家

吉永 みち子

「羽鳥慎一モーニングショー」コメンテーター

「あさチャン! サタデー」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

式典次第

第一部 表彰式

14：00…開 式

- ・ 会長挨拶
- ・ 表彰選考委員挨拶
- ・ 表彰状並びに副賞の贈呈
- ・ 受賞者代表挨拶

15：30…閉 会

第二部 祝賀会

15：30…開 宴

- ・ 来賓祝辞 乾杯のご発声

17：00…閉 会

(平成29年7月21日 於帝国ホテル東京)

会長挨拶

皆様こんにちは。

ご紹介を頂きました社会貢献支援財団会長を務めさせて頂いております、安倍昭恵でございます。

本日はあいにく瑤子女王殿下の御臨席が叶いませんでしたが、大勢の皆様にご出席頂き、第48回目となります社会貢献者の表彰式典を開催できますこと、心より感謝を申し上げます。

本式典の開催につきましては、日本財団はじめ関係各位の皆様にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。



現在、表彰式典は7月の前期に人命救助と海外に向けての社会貢献活動の功績を表彰、11月の後期に国内に向けての社会貢献活動の表彰と、年2回開催しております。

本日の式典では、人命救助の功績11件、外国籍の方による活動や海外に向けての社会貢献活動の功績17件、併せて28件の功績の表彰をさせていただきます。

まずは、受賞者の皆様、皆様の活動を支えていらっしゃるご家族はじめボランティアの皆様に変更して敬意を表するとともに、心からお礼を申し上げます。

今回の人命救助の受賞者は、人命救助のため、川や海に飛び込む、列車が接近するなかで線路に飛び降りる、火災現場で燃えている家に入る、身を挺して人を巻き込んだトラックを停止させるなどの活動をされた方々です。

今年5月にイギリスのマンチェスターで22人が犠牲となった自爆テロ事件では、近くにいたホームレスの人が人命救助を行い、「私は英雄ではない。誰もがすることをしただけ」と話されたというニュースがございました。今回の受賞者の方も同じように仰ることと思いますが、とっさの行動が求められる現場において「誰もがすることをしただけ」という言葉は天からの声を聞く思いがしました。

また社会貢献活動の受賞者は、モンゴル、ミャンマー、インドそしてバングラデシュなど19か国の国々で、日本人が諸外国のために、一方外国籍の方が日本人のために活動されている方々でございます。

人のために地道に活動されているお姿は、人々に感動を与えるものと思います。

この様な受賞者の皆様の活動が、世の中の善行を広めると共に、世界の国々との交流を一層ひろげ、日本がより良い国になりますようにと願っております。

最後に、受賞者の皆様の一層のご活躍とご健勝を祈念しまして私の挨拶とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございました。そして、人命救助にあられた皆様、ありがとうございました。

公益財団法人 社会貢献支援財団
会長 安倍昭恵

表彰選考委員挨拶

本日はおめでとうございます。

内館委員長がいつもは素晴らしいご挨拶をされるのですが、皆様の選考の折りは怪我をされていたので、選考にあたりました私から挨拶をさせていただきます。

これまで社会貢献支援財団の選考委員を務め、多くの方々の善行を拝見させていただきました。皆様の人命救助や社会貢献活動にはただただ頭が下がります。

この委員を務めさせていただくまで、皆様のような素晴らしい方々がたくさん居られることを知りませんでした。自らの生命も顧みず咄嗟の判断で人の生命を救うという行動をとられた方々の勇気と人の生命を思いやる心に感激しました。

皆様のような行動が「自分に果たしてできるだろうか」と考えてみると全く自信がありません。

又、恵まれない方々に対する社会貢献活動を行っておられる皆様にも感銘を受けました。私もベトナム等で日本語による複式簿記普及のボランティア活動を始めて10年になりますが、自分の活動はベトナム等の指導者になる方々に日本ファンになっていただき、日越交流の架け橋になっていただきたいとの思いで行っています。

しかし、皆様の活動は真に人道的視点でそれぞれの国々の恵まれない方々に相手の立場を思って続けてこられるものです。

日本は欧米先進国に比べて寄付金が少ないと言われますが、皆様のような活動は「お金」を寄付するだけでなく、自分の生活と人生をかけて取り組んでおられるのであり、世界の国々の方でもそれ程多くないと思います、本当に素晴らしいことです。

日本のマスコミでは暴力事件等悪い行為ばかりが取り上げられていますが、皆様のような行為こそ多くの日本人、特に若い方々に知ってもらいたいと思います。

どうか受賞された皆様もこうした善行をこれからも続けていただき、皆様のような方々を一人でも多くの仲間にしていただいて「素晴らしい方々も多くいるんだ」ということを広めていってください。

そして、多くの方々に皆様のような素晴らしい活動を行う勇気を広めていって下さい。

本日は受賞誠におめでとうございます。



公益財団法人 社会貢献支援財団
選考委員 大 武 健一郎

受賞者代表挨拶

夏真盛りの今日、このように盛大な授賞式に参加させていただき受賞者を代表してお礼の挨拶を申し述べます。

私たち「日本ベラルーシ友好協会」の活動は1991年3月から始まり、今年で26年になります。1986年に旧ソ連邦ウクライナ共和国で発生したチェルノブイリ原発事故被災者支援を行っています。2011年からは福島原発事故被災者支援も加わりました。先ほど受賞に登壇した元秋田大学学長の三浦亮先生との出会いがこの事業の基礎です。



先生の「よし、やりましょう」の一声で始まったといっても過言ではありません。血液学の国際的権威としての存在も去ることながら遥か遠方のベラルーシ共和国の被曝者支援を続けて来られたご意志は決してその場だけのものではありません。

当会の活動の中心は人材教育で、1992年に一人目の研修医を招聘して以来、これまでに招聘した医師たちは77人に上ります。

一人目の医師は内科医ユーリー・シェフェイルさんで三浦先生に1年間、お世話になりました。今では世界最高峰の病院と目されるイスラエルのテルアビブ医科大学の教授をしています。また、1996年に来秋した整形外科医、バスパリチューク・ポール先生の下には7,000人の医学生のうち1,000人は海外からの留学生が占める、世界有数の医科大学であるベラルーシ国立医科大学学長になりました。このように秋田大学などで研修したほとんどの研修医は帰国して数年後には教授などに昇進して指導的地位を築き、各種国際学会へ招聘され遺憾なく成果を発揮しております。

そして2011年3月に発生した「福島原発事故」に対してはいち早く支援表明をして、「私たちの経験が無駄にしないで下さい」としてチェルノブイリ原発事故に関する復興のバイブルともいえる「ベラルーシ政府報告書」を下さいました。








































それ以来毎年、福島を訪問して被災者支援を続けております。これら研修医は秋田へ来ることがベラルーシでの医学会は言うに及ばず、世界の医学界への登竜門とさえなっています。

16年前からは県内高校生の参加によって秋田駅での募金が行われており今月で193回目となります。お仕事での職業奉仕で社会貢献は当然としても社会の為に尽くす“社会貢献”は役に立って初めて認められます。「誰もしないから、しない。のではなく誰もしないから自分がやる」このことが最も重要なポイントなのではないでしょうか？私たちはこれからもこの賞に恥じることの無いように社会貢献を続けて参ります。本日は有難うございました。これでお礼の言葉といたします。

NPO 法人日本ベラルーシ友好協会 事務局長
佐々木 正光

記念写真



- | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|--|---|---|---|
| 
古室
好光 | 
熊谷
凌 | 
飯田
拓海 | 
内藤
義雄 | 
川部
澄子 | 
前泊
優斗 | 
斎藤
修治 | 
佐藤
旭 | 
楠瀬
昌澄 | | |
| 
大谷
雄郎 | 
永井
真人 | 
八木
隆太郎 | 
伊藤
修 | 
袋本
将史 | 
奥田
凌 | 
坂本
徹哉 | 
高橋
伸治 | 
須田
龍 | | |
| 
佐藤
真紀
<small>NPO法人
日本イクラ医療支援
ネットワーク</small> | 
佐藤
昭一
<small>認定NPO法人
地球市民の会</small> | 
進藤
和昭 | 
高本エリック | 
高本スーザン | 
川原
英照
<small>ミンマールビルマ
こころ通博連動</small> | 
小島
知広
<small>ミンマールビルマ
こころ通博連動</small> | 
柳下
純悠
<small>ミンマールビルマ
こころ通博連動</small> | 
倉重
由美
<small>NPO法人
JPNPO</small> | 
吉岡
春菜
<small>認定NPO法人
シンクハル</small> | |
| 
袴着
英子 | 
久野
美奈子 | 
平野
喜幸 | 
山田
久仁子
<small>レチット</small> | 
祐川
郁生
<small>イーダレレシミンチアオ</small> | 
安倍
昭恵
<small>会長</small> | 
黒田
小夜子
<small>イラスト</small> | 
日本ペーパー工業協会
三浦
亮
<small>NPO法人</small> | 
谷川
洋 | 
山崎
純子
<small>AAAFシニアフリカ</small> | 
野田
沙良
<small>NPO法人アケレス</small> |

表彰式











来賓祝辞・乾杯のご発声

受賞された皆様方には心からのお祝いと、感謝の誠を捧げたいと思います。

ただ今ご紹介頂きましたように、日本財団は社会貢献支援財団の意義を高く評価して全面的に支援させて頂いており、この財団の積極的な活動は誇りの一つでございます。

特に、公私ともにご多忙な安倍昭恵令夫人がこの財団の意義を深く理解してくださって会長へのご就任を賜り、ご自分の目で見てみたいという所には自ら足を運んでお調べも頂き、お話を伺って意思決定の中にも参画されていらっしゃる。また、内館牧子選考委員長をはじめとする選考委員の皆様方は大変厳密な審査を行っていただき、今日の表彰へという過程をたどっております。



全国には無償の行為と申しましょうか、自分を無にして人のため世のために尽くされている方が大変多くいらっしゃいます。今日表彰された方は、そのなかの極々一部の代表の方たちでございまして、皆様方の行為、そして活動については、深く感謝いたしております。

今回、選に漏れた多くの方々も、それぞれの地域で、溢れるような情熱、どんな困難があっても続けていくのだという忍耐力、そして継続性をもってお仕事に当たって頂いております。このことが日本は最も安心・安全の社会であるという意識が世界に定着した原因ではなかろうかと思っています。

そういう無償の行為というのは、日本人が古くから培ってきた伝統だと思います。この素晴らしいDNAを、今後も将来を背負う日本の若い人たちに継承していただき、単に日本だけではなく、今回は世界で活躍しているかたも表彰されましたが、この伝統をさらに広げて頂き、政府では安倍総理をはじめ、積極的な平和外交というものを日本の外交の基本において、世界の隅々まで活動を広げて頂いておりますが、それに呼応するように、我々国民一人ひとりもそういう気持ちを持って、世界のそれぞれの国の片隅というと語弊があるかもしれませんが、ご活躍いただき、今日受賞された皆様方には先導者としてこれからの日本の若者たちに伝統を引き継いでいただく役割を担っていただきたいと思っております。

厳粛な儀式の中で紹介された一人ひとりのご活動に、本当に感動をいたしました。これからもどうぞお元気で、皆様方の活動をお続けいただきたいのと同時に、重ねて

申し上げますが、若い人たちに是非引き継いで頂けるようご協力をお願いし、世界から尊敬される安心・安全で未来豊かな日本国になって頂く。その礎の一つとして社会貢献財団が存在し、発展し続けることを心から願っております。

あまり話が長くなりますと、皆様お疲れでございましょう。まずは一杯やりましょう。

今日は私たちに本当に素晴らしい感動と勇気を与えていただきました。今日ご出席いただいた来賓の皆様も、表彰された方々の行為を真似するというと語弊がありますが、後から付いていこうではありませんか。私も一番後ろから付いて参ります。

おめでとうございます！

公益財団法人 日本財団
会 長 笹 川 陽 平

祝賀会







社会貢献者表彰とは

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰させて頂き、その功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的とする。

第48回社会貢献者表彰の概要

【募集告知】

平成28年1月中旬より、ダイレクトメール発送、新聞への告知広告、当財団ウェブサイト等にて

【対象となる功績】

- ・人命救助の功績
- ・社会貢献の功績（主に海外関連社会貢献）

【候補者について】

- ・候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍等の制限はない
- ・候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とする
- ・候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または・大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とされる
- ・「人命救助の功績」については、原則として、平成27年1月1日以降の功績を対象とし、この功績の場合のみ、当該行為により亡くなられた方を含む

【選考について】

選考委員会開催日：平成28年6月22日 帝国ホテル東京

【受賞者】

受賞者：28件（内51件は平成28年11月28日表彰済み）

応募総数：175件

【表彰式】

開催日：平成29年7月21日 帝国ホテル東京

受賞者には表彰状、副賞として日本財団賞（賞金）を授与する